

1学期のゴール直前

だからラストスパートで走りきろう!!

笑輝

第11号
加賀中学校
校長室

期末テスト終了

みなさん、本当にお疲れ様でした。1学期の大きな締めくくりである期末テストが昨日、すべて終了しました。

テスト期間中の緊張感から解放され、ホッと一息ついていている人も多いことでしょう。テスト中の教室を回ると、誰一人として諦めることなく、一問一問に真剣に向き合い、熱心に鉛筆を走らせるみなさんの姿が非常に印象的でした。問題用紙を見つめ、記憶の糸をたぐり寄せようとすると、最後まで粘り強く考え抜こうとする姿勢からは、一人ひとりの強い意気込みが伝わってきました。まずは、この大きな試験に正面から挑み、途中で投げ出すことなく最後まで走りきった全員に対して、心からの敬意を込めて「よくがんばりました」と言葉を贈りたいと思います。

しかし、テストが終わると、どうしても点数や順位という目に見える結果ばかりに気が取られがちになります。返却された答案用紙を見て、嬉しさに満ちた笑顔を輝かせる人もいれば、思うような結果が出ずに悔しい思いをする人もいることでしょう。そうした一喜一憂する気持ちがわき起こるのは当然のことです。ですが、本当に大切なのは点数という結果そのものではなく、そこに至るまでの「プロセス(過程)」にほかなりません。テレビの誘惑やスマートフォンなどの通知を自らの強い意志で断ち切り

机に向かった時間。分からない問題に突き当たっても諦めず、教科書やワークを見返しながら、ノートに何度も書き直した時間。こうした「努力した」という事実こそが、みなさんを一回り大きく成長させる本物の財産です。結果がどうであれ、自分が費やしたエネルギーと挑戦した勇気を、まずは自分自身で思いきりほめてあげてください。

そして、ここからが本当のスタートでもあります。これからみなさんの手元に返却される答案用紙は、みなさんの「未来の伸びしろ」が詰まった宝の地図です。点数を見て一喜一憂する段階を終えたら、ぜひ次の3つのステップを実践してみましょう。

① 原因を分析する

単なる問題の読み落としや計算ミスといったケアレスミスなのか、それとも根本的に理解が足りていなかったのかを明確に区別します。

② 解き直しをする

正解を見て理解したつもりになるのではなく、間違えた問題を何も見ずに自力で解けるようになるまで再挑戦するのです。

③ 次回の作戦を立てる

今回の反省を生かし、例えば「テスト勉強は2週間前から始める」「苦手な単元は毎日復習する」など、具体的な行動計画を立てます。今回のテストを振り返り、前を向いて、次の一步を踏み出しましょう。

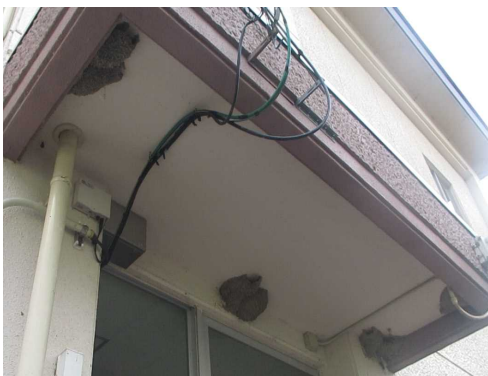
夏休み近づく

早いもので、楽しみにしている夏休みまで、1学期の登校日は残り2週間ほどとなりました。ここでマラソンを思い浮かべてみてください。ランナーが最も力を振りし

ばるのは、ゴール手前です。学期の終わりが近づくと心がソワソワしがちですが、ここでスピードを緩めてはもったいないと思います。これまでに積み上げてきた1学期の素晴らしい締めくくりをするために、残りの日々を全力で駆け抜けてほしいのです。

授業の1時間1時間、係活動、給食当番、清掃活動、部活動の練習。その一つひとつに「今、自分ができる最高の力」を注ぎ込んでみてください。この2週間をどう過ごすかで、1学期全体の充実感がガラリと変わります。やりきったという達成感を胸に、堂々と1学期のゴールテープを切りましょう。

また、この1学期、私たちは多くの人に支えられて過ごしてきました。苦楽を共にした仲間、成長を応援してくれた先生方、そして誰よりも温かく見守ってくれた家族。1学期の締めくくりに、日頃の「ありがとう」を言葉や行動で伝えてみてください。残りわずかな日々を大切に走り抜け、最高の笑顔で夏休みを迎えましょう。がんばれ、加賀中生。



校内につくられたツバメの巣。何と1か所に7つも巣があります。場所が分かる人は校長室まで。何も景品はありませんが…。